

「キャリアビジョン形成支援事業」

西高では県の「キャリアビジョン形成支援事業」の一環として、様々な形で将来のキャリアビジョンを考えるプログラムを行っています。

1年次 キャリアガイダンス(職業編)

毎年1年次生では、進路&職業選択の幅を広げるためのガイダンスを行っています。10月には本校卒業生5名をお招きし、「社会を担う自立した社会人」をテーマにパネルディスカッションを開催しました。



公務員(福祉事務所) 石部 文人さん
H16年3月卒業

「自分に自信を持つ」この思いをベースに目標のために努力を惜しまない。



小学校教諭 鈴木 佐和子さん
H17年3月卒業

悩むこともあるけど、自分が選んだ道を信じて、楽しく心豊かに。



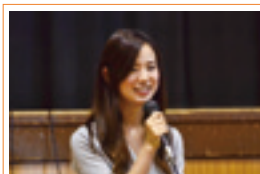
看護師 井戸 理紗さん
H21年3月卒業

“何が正解か”はない。自分に向いているものをじっくり考える。いまを楽しんで。



会社員 旅行関係 鈴木 遥介さん
H21年3月卒業

いろいろな選択肢を見つける。西高には一生懸命できる環境と自由がある。



会社員 食品研究職 後藤 優佳さん
H23年3月卒業

どんなことにも恐れず挑戦して欲しい。大切な仲間を見つけて。



西高生から質問



保護者も参加しました

一番印象深かったのは、どの先輩も最初から今の仕事に就きたかった訳ではないということだ。大学などで自分が本当にやりたいことを見つけたという話を聞いて少し安心した。先輩達の話にもあった通り、進路に向けて努力しつつ、かけがえのない西高時代を全力で楽しみたい。 1年 中込 颯真(竜王中)

高校時代の話だけでなく、実際に今の仕事の状況についても聞くことができて、将来の自分を考える上で参考になった。先輩達に共通していたことに「仲間を大切に」という言葉があった。私にも支えてくれる大切な友人ができた。これからも共に楽しく明るく過ごしていきたい。 1年 高木 万梨乃(押原中)

失敗したことやもっとこうすれば良かった事など西高での経験談を聞いたので、これまでの自分を見直す良いきっかけになりました。自分の将来の選択肢を広げるためにも、いろいろなことにチャレンジして、夢中になれる何かを発見するため「ちょっとずつ」努力していきます。 1年 遠藤 理沙(田富中)

1年次 キャリアガイダンス(進学編)

10月の職業編に続き12月には進学編として、国際関係学、法学、教育学、心理学、工学、理学、薬学、医学、看護学、保健医療学等から計13講座を設け、それぞれの専門の大学の先生方から講義を受けました。



教育学(英語系)



教育学(身体芸術系)



国際関係学



理学(生物系)



理学(物理系)

看護学に参加して

近年、看護師の多様化が進み、病棟勤務が減っているということにとても驚きました。患者さんがとても苦しんでいる姿を見ながら近くに寄り添ってお世話することは辛いのに笑顔で関わる看護師さんをととても尊敬します。患者さんの家族の心のケアも欠かさず行うことには本当に感謝するし、素晴らしいと思います。今日伺った理想の看護師さんのようにはできないかもしれないけど、人の心と身体をサポートできる仕事に就きたいと強く思っています。 1年 櫻井 伶菜(田富中)

法学に参加して

「専門分野を学ぶことは専門的な眼鏡を得ること」という先生の言葉がとても印象に残った。専門分野を学んでその視点で物事を見ることが大学で学習する意義だと思った。だからその大学までの必須課程である高校の勉強を一生懸命しようと思った。今やるべき事に精一杯取り組み、大学や将来への糧にしていきたい。「法律学」という学問に初めて触れてみて、視野が広がった。こんなにたくさん学ぶことがあるのかと驚き、他の学問にも目を向けていきたいと思った。 1年 秋山 葵(白根巨摩中)

理学(物理系)に参加して

物理学は昔、「自然哲学」といわれ、自然に思いをはせる学問だった。自然(日常生活など)の様々な現象は、自分たちには当たり前のことだと思っても、数学を道具とすることできっちりと表現することができるのが物理の面白さなんだろうなと思いました。学校での勉強はどうしても視野が狭くなりがちだけれど、大学の専門の先生の講義を通して視野が少し広がったかなと感じました。これからは物理学や数学の勉強に興味・関心を持って楽しみたいと思いました。 1年 深田 爽太(甲府西中)

国際関係学に参加して

「アジアと日本」と「アジアの日本」の含む意味の相違がテーマの講義でした。それを明確にするには、今のアジアの問題や日本の経済問題、かつての経済体制についての理解が必要でした。例えば少子高齢化の対策で移民をたくさん受け入れることに反対か賛成かという話では、様々な人種を受け入れることの抵抗が私たちに問われました。今までアジアの情勢について他国の立場で考える事がなかった私は、この講義で新たな視点から考えるという事を学ぶことができました。 1年 井上 菜緒(甲府北中)

「先端研究・技術体験プログラム～筑波学園都市の研究施設の見学研修～」

1, 2年生の希望者40名で茨城県つくば市に研修に行ってきました。

「CYBERDYNE STUDIO」

つくば市のベンチャー企業「CYBERDYNE STUDIO」に行き、筑波大学発のサイバニクス技術が駆使されたサイボーグ型動作支援ロボットスーツHAL®の装着体験をしました。生徒ひとりひとりがセンサーを装着して動作させる実体験を行い、自分の意志で動いたときには、大きな驚きの声! Q&Aコーナーでは生徒から次々と質問が発せられ、活発な研修会となりました。



HAL®の体験

「JAXA(宇宙航空研究開発機構)」

JAXAでは、宇宙飛行士の基礎訓練・健康管理・体力トレーニングの施設見学、および国際宇宙ステーション(ISS)日本実験棟「きぼう」の運用管制室の見学を行いました。運用管制室内のモニターに映し出された地球の映像は言葉が失う美しさでした。



本物のロケットの前で(JAXA)

「筑波大学施設見学」

筑波大学では西高卒の在学生に出迎えていただき、図書館や大学ギャラリーを見学させていただきました。広大なキャンパスに圧倒され、さらに膨大な蔵書と外国語の書籍に圧倒され、英語の重要性を強く認識しました。大学での勉強や学生生活、受験についての話も盛り上がりしました。



筑波大学の卒業生と懇談